

会 員 各 位

一般社団法人 日本舶用工業会
専務理事 矢頭 康彦
(公印省略)

次世代海洋エンジニア会 四期生（若手技術者交流会事業）への参加募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当会技術開発戦略検討委員会においてとりまとめた「今後の技術開発事業のあり方について」では、従来にはない全く新しい発想による技術開発につなげるためには、同業他社あるいは異業種・他分野の技術者との交流を通じて、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者の連携を深める取組みにより、将来的に新たなアイデアの発掘や、技術的な協力体制の構築等へ繋げていくことが求められています。

この方針に基づき、技術開発戦略検討委員会及び同WGの検討を経て、当会では2022年より船社・造船・舶用の各社の将来を担う若手技術系社員を対象とした交流会事業を実施してまいりました。

その後の技術開発戦略検討委員会及び同WGでの審議の結果、本事業を継続するとともに、海事クラスター（船社・造船・舶用・保険・船級等）全体へと対象を拡大し、年間合計4回のプログラムとして実施する方針となりました。

つきましては、本事業への参加をご希望の会員企業におかれましては、**来る3月19日(木)まで**に、添付申込フォームよりお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

<実施計画>

・次世代海洋エンジニア会 四期生の実施計画（別添）

<申込フォーム>

[URL:https://forms.office.com/r/DMjGusXg5q](https://forms.office.com/r/DMjGusXg5q)

QRコード：



(問い合わせ先)

一般社団法人日本舶用工業会 技術部 三田村 / 和間

TEL : 03-3502-2041 FAX : 03-3591-2206

E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

以上

次世代海洋エンジニア会 四期生（若手技術者交流会事業）の実施計画

1. 事業名

次世代海洋エンジニア会 四期生 (NGMEA 4th gen) Next Generation Marine Engineer Association

2. 目的

【会員企業】

今後の船用工業を支える若手技術者職員の（i）技術者の能力向上、育成（ii）海事クラスター内の技術者の交流、ネットワーキング（iii）異分野の技術者との交流を通じた意識改革（iv）異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出を提供し、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築くことを目指した交流会とする。

【非会員】

今後の海事産業を支える優秀な若手社員に対し、海事クラスター内のネットワーキングの構築、業界課題に対する協調領域の発見、具体的な解決策の立案の場を提供し、各社の将来を担う若手社員との深い交流を築くことを目的とした交流会とする。

3. 対象者及び研修人員

（1）会員：会員会社の将来を担う優秀な若手技術系社員（原則として、経験年数5年以上概ね40歳以下）*1

非会員：海事産業の将来を担う各社の優秀な若手社員（原則として、経験年数5年以上概ね40歳以下）

（2）会員30名、非会員20名程度（最低開催人数40名）*2

（3）実施期間中は原則同じメンバー*3

*1. 過去に実施した若手技術者交流会（トライアルメンバー）並びに若手技術者交流会（一期、二期、三期）の参加者も歓迎します。

*2. 原則1社2名までのお申し込みとし、多数のご応募をいただいた場合は、各社からの参加人数の調整もしくは先着順とさせていただきます。

また参加人数が最低開催人数（40名）を下回った場合は開催を見送らせていただきます。

*3. 本交流会は1年間のプログラムを通じてネットワーキングを行うことを目的としていることから、可能な限り同一参加者が全プログラムを通じて参加する様、お願いします。

4. 日程と場所

2026年度の1年間を実施期間とし、下記日程を通して交流会を行う。

	日 程	場 所
① 第1回	2026年 5月27-29日（2泊3日）	大阪・福岡
② 第2回	2026年 7月8-10日（2泊3日）	宮城県（気仙沼・仙台）
③ 第3回	2026年 9月30, 10月1-2日（2泊3日）	広島
④ 第4回	2026年 11月27日（1日）	大阪

*期間中、参加者には上記日程以外に課題等に取り組んでいただく場合があることについて、ご理解をお願いします。

*上記日程及び開催場所は変更の可能性がございます。

5. 費用

40万円（税込）/人

*上記日程において、参加者に関わる交流会中の宿泊・食事・懇親会・研修に関わる費用並びに事業運営費を含んでおります。

*プログラム中、研修及び見学先へ鉄道移動を行う場合がございますが、その際の交通費は含まれておりません。

*交流会実施日以外に、各チームの活動において出張を伴う打ち合わせや作業が発生する場合、旅費・宿泊費は各所属企業のご負担となります。予めご了承ください。

*ご請求については、第1回～第4回の参加費40万円/人をプログラム開始前（4月頃）に行います。

*なお、参加費お支払い後の返金要請はお受けしておりませんので、予めご了承ください。

*フォローアップ会（OBOG会）の運営費も含まれます。

6. 交流会の形式及び内容（予定）

内容は下表の通り。

	プログラム	内容
① 第1回 (合宿) 2026年 5月	キックオフ	顔合わせ、自己紹介、アイスブレイク、交流会の目的及び意識合わせ。
	アイデアソン	「社会課題の解決を前提としたアイデア発想」と題して海事クラスターで協力して取り組むべき協調領域についてアイデア発想・中間報告を行う。
	研修	A I 活用、デジタルに関わる研修を予定
	船内見学	阪九フェリーの協力の下、同社船にて、船橋・機関室などの船内見学を行い、機器配置、船内構造等の理解を深める。
	施設見学	異分野・異業種の研究施設等を見学予定
	懇親会	参加者同士の交流を深める。
② 第2回 (合宿) 2026年 7月	施設見学	㈱みらい造船の協力の下、同社の施設見学及び意見交換会を予定
	アイデアソン	「社会課題の解決を前提としたアイデア発想」と題して海事クラスターで協力して取り組むべき協調領域についてアイデア発想・中間報告を行う。
	懇親会	参加者同士の交流を深める。
③ 第3回 (合宿) 2026年 9.10月	船内調査&乗船実習（広島丸）	広島商船高等専門学校の協力の下、同校の保有する練習船「広島丸」にて船内調査、乗船体験を行う。
	アイデアの具現化	検討したアイデアを実際に形にしてみる。
	アイデアソン（意見交換&まとめ）	全体でアイデアの意見交換を行い、フィードバック内容を元にアイデアブラッシュアップ。
	懇親会	参加者同士の交流を深める。
④ 第4回 2026年 11月	成果報告会	当会の技術開発戦略検討委員会、同 WG の委員及びアドバイザー及び各企業の経営層を来賓として招き、コンテストを行う。

*実施内容については、今後変更の可能性があることをご承知おきます。

以上